

特定処遇改善加算算定における「見える化要件」について

加算の取得状況：介護職員等特定処遇改善加算（Ⅲ）

賃金以外の処遇改善に関する取組内容

区分	要件項目	取組内容
入職促進に向けた取組	他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、幅広い採用の仕組みの構築 職場体験の受入れや地域行事への参加等による職業魅力向上の取組の実施	定年後も希望に応じて雇用したり、パート職員として主婦層・中高年齢層を採用したり、これまでの社会経験を生かして活躍できる職場環境整備を行っている。 看護大学の実習や、福祉の体験学習の機会を提供することにより、福祉のイメージアップを目指している。
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	働きながら介護福祉士取得を目指すものに対する実践者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰ケア、認知症研修、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等 研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との連動	職員の資格取得、研修受講を推奨し、勤務時間内での研修受講を認める等、資格取得や研修を受講しやすい環境を整えている。資格取得者には昇給や手当等の処遇面で評価している。面談の実施により目標の設定や振り返り、人事考課等を通じてキャリアアップに繋がるよう支援している。 研修については、勤務経験・担当業務に応じて職員のスキルアップを図るため、計画的に受講している。
両立支援・多様な働き方の推進	職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度 有給休暇を取得しやすい環境の整備	職員の希望に応じて正規職員への転換にも取り組んでいる。 より有給休暇を取得しやすい環境づくりの為、下期から時間単位での取得を可能とするよう、取り組んでいる。
腰痛を含む心身の健康管理	介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、介護ロボットやリフト等の介護機器等導入及び研修等による腰痛対策の実施 短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施	中間浴の導入や腰痛体操の紹介を行なっている。 パート職員等にも年次健康診断を実施し、休憩室を確保している。

生産性向上 のための業 務改善	高齢者の活躍等による役割分担の明確化	高齢の職員も積極的に採用し業務改善に取り組んでいる。
やりがい働 きがいの醸 成	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善 地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域児童・生徒や住民との交流の実施	週に1回職員会議を行い、職員の意見交換を行っている。面談の実施により、勤務環境やケア内容に改善を図っている。 トライやるウィークの受入れや、地域の相談会等で地域住民との交流を図っている。